

# FMU 男女共同参画通信

第5号 June 2015

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

## 下半期ニーズ調査を実施します

ライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。

つきましては、**7月末**にニーズ調査（配置希望調査）を行います。

支援期間：

H27年10月1日～

H28年3月31日まで

1. 対象者：本学に所属する助手以上（大学院生も含む）の研究者（性別は問いません）のうち、①～④にあてはまる教員。

①妊娠中

②家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者である

③同居・別居に問わず市町村の要介護認定を受けている親族の主たる介護者である

④その他、上記に準ずる（家族の看病をしている等）状況

2. 支援を希望される方は、7月下旬に配布する調査票にて詳細をご確認ください。

## ■男女共同参画推進員 研修会を開催しました

本年4月より「男女共同参画推進行動計画」に基づき、各所属に男女共同参画推進員を配置し、各所属の男女共同参画の意識の浸透と確実な推進を図ることとしております。

その男女共同参画推進員を対象として、去る5月27日（水）に福島県男女共生センター「女と男の未来館」館長/福島大学副学長/福島大学行政社会学類教授千葉悦子氏をお招きし、研修会を開催しました。

千葉先生には、本学が目指すべき「男女共同参画」に向けた方向性と支援策などについてお話いただき、改めて男女共同参画の重要性を認識することができました。

今後は、チェックシートの実施等により進行管理を行い、各所属の男女共同参画の現状について把握するとともに、本行動計画に基づき、活動を行っていきたいと思います。



## ■FMU キャリア・アップセミナーを開催しました

5月29日（金）にキャリア形成に関するセミナーとして『FMU キャリア・アップセミナー』を開催しました。「なりたい医師像への道を拓く」をテーマに、本学公衆衛生学講座教授 安村誠司先生に御講演いただきました。

安村先生には、『10年後』を考えて道を拓くためにどのようなことをすべきかについて、御自身の体験談なども交えてお話いただきました。

多くの学生に参加いただき、セミナー終了後のアンケートでは「医学生として、今後どのようなキャリアを積んで行くべきか全くわからないでいたので、大変参考になりました」「先生の学生の頃の本心を聞くことができ、大変参考になった」「10年後を考えて、自分のやりたいことを探していきたいと思った」等の声が寄せられ、とても有意義なセミナーになりました。



## ■FMU カフェを開催しました

今年度は、男女共同参画についてテーマをもとに自由に話し合う『キャリアカフェ』と情報交換をしつつ英語力を身に付ける『イングリッシュカフェ』を毎月開催しております。

4月には、『キャリアカフェ』を開催し、「サル山から学ぶリーダーシップ」をテーマに話し合いました。本支援室で研究支援を受けている教員の方々も参加いただき「いろいろな話が出来て良かった」などの声が寄せられました。



イングリッシュカフェの様子



キャリアカフェの様子

5月には、前年度も行っておりました『イングリッシュカフェ』を開催し、学生など初参加の方々から「英語の勉強への意欲がわいた！また来たいです！」「英語を話す機会があまりないので、とても良いと思いました」などの声が寄せられ、コミュニケーションも深まるカフェとなりました。



## ■育児サポート説明会を開催しました

5月12日(火)に本支援室の取組として行っている「育児サポート事業説明会」を開催しました。説明会では、本学の病児病後児保育「すくすく」、育児サポート事業「こども緊急サポートネットワークふくしま」、「福島市ファミリーサポートセンター」のスタッフの方々に事業の概要、お申込み方法などについてご説明いただきました。

本支援室では、随時お申込みなどを受付けておりますので、お気軽に御連絡ください。

### 【連絡先】

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp  
Tel : 024-547-1657  
内線 : 2807



## ■育児サポート事業 施設のご案内

### こども緊急サポートネットワークふくしま(病児・病後児対応)

住所：福島市在庭坂字南林60-2  
まごころケアホーム高湯の里内  
TEL : 024-592-2270 FAL : 024-592-2271  
時間：(365日) 9:00~17:00  
転送電話により24時間対応

### ふくしまファミリーサポートセンター(病児・病後児対応)

住所：福島市早稲町4-16 ラヴィバレー番丁3階  
TEL : 024-526-0612 FAL : 024-526-0613  
時間：(月~土) 8:30~17:00  
(日・祝日・年末年始) 休業日

### 病児病後児保育「すくすく」

住所：福島県立医科大学 1号館(旧管理棟)1階北側  
TEL : 024-547-1717 (内線 : 4111)  
時間：月~金 8:00~18:00

※各施設事前に利用登録が必要になります。  
詳しい内容、登録および利用方法等、詳細については、本支援室のHPをご覧ください。



## Information

### FMU イングリッシュカフェ

日時 ■ 7月28日(火) 16:30~17:30

場所 ■ 4号館 2階 第5講義室

発表 ■ 『調整中』

※お菓子や飲み物を御準備しておりますので、お気軽にご参加下さい。

## ◆育児サポート利用者の声

医学部 Aさん より



研修医の頃より緊急サポートネットワーク福島を利用させていただいております。主に休日出勤や当直の時に保育をお願いしていましたが、子供が4歳になってからは平日の習い事への送迎もお願いしております。ほとんどいつも同じ方をお願いいたしますので、子供も祖母のように慕っていていつも安心して頼むことができます。有料のサービスではありますが、大学に申請すれば補助がでますので実際の負担は3割程度で気軽に利用することができ、とても助かっています。

### ♪ こんなことをしています ♪

- ★室内での活動  
風船、呼び子、笛、ハーモニカ、お絵描き、ビー玉、おはじき等、誕生日会等
- ★外での活動  
花・虫などの季節の観察



## ◆育児サポート事業者の声

お預かりスタッフBさん より



まだまだ小さいと思っていましたが、お預かりする度にその成長が目に見えるようになりました。そのような成長は、何よりもうれしいものです。

最初にお預かりした時は、人見知りをしない赤ちゃんでした。次にお預かりした時は、人見知りを覚えてきました。そんな時期が何度かありましたが、それでも私は困惑することはありませんでした。この時期が過ぎれば次のステップに到達することが分かっているからです。

その後は、言葉も話せるようになり、主人もかかわってくれていたのが「じいちゃん、ばあちゃん」と私共を呼んでくれる様になり、益々可愛さが増していきました。来宅の日は我が家の一員です。

お忙しいお母さんを少しでもお手伝いできる様いつも心掛けています。このようなお母さん方との交流を通して、私達も研修を深めております。

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

## 福島県立医科大学 男女共同参画支援室

【連絡先】 E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 / 内線 : 2807

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ

コーディネーター 氏家 智亜紀